

学校だより

第14号

ともに歩もう ともに学ぼう ひとすじの道

発行
枚方市立山田中学校
平成31年3月22日

校訓
探求 友愛 剛健

本日、修了式、 来年度へさらなる高みをめざして！

平成31年度も修了式の日をむかえました。この一年間で、皆さんはずいぶん成長したと思います。一年生は、入学した頃の緊張感もなくなり、中学校生活にも慣れて、落ち着きが出てきたように感じます。二年生は、先輩としての中学校生活に、頼もしさが加わってきたように思います。

先日の生徒集会の皆さんは、来年二、三年生になるのにふさわしい姿でした。時間通りにみんなが集合でき、しっかり人の話も聞いていました。生徒会からの呼びかけも、本当に素晴らしく、来年度に向けて期待が大きく膨らみました。この気持ちを4月も持ち続け、一人ひとりがしっかり目標を定め、さらに高みとなる「質の向上」を目指してください。



卒業生を送ることば

木々の芽吹きに春の訪れを感じる、このよき日に、山田中学校を卒業される三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

三年生のみなさんには、普段の学校生活や部活動、生徒会活動など、色々な場面でお世話になりました。入学当初、学校のことも部活動のことも何も分からなかった私たちに、先輩方はいつも明るく話しかけてくださり、優しく丁寧に教えてくださいました。いつも元気に行動する姿を見て、私たちも元気をもらえました。そんな優しく元気で明るい先輩方にたくさん助けられ、支えていただきました。

三年生との思い出は、いろいろあります。特に関わりが大きかった体育祭では、赤・白・青の団長の三年生が作戦を考えてくださり、三学年全員で一致団結し、頑張り、楽しむことができました。また、全員リレーなどでは、一人一人が全力で仲間を応援する姿を見て、三年間で培ってきた深い絆に、心を動かされました。文化祭では、どのクラスもおもしろく、見ている人を楽しませてくれた劇。全員の声と心が一つになっていた学年合唱。三年生が力を合わせて取り組んでいる姿から、仲間の大切さを教えていただきました。その他にも、送る会やクラブ対抗駅伝大会など、色々な場面で三年生のみなさんと関わることができました。たくさんの感動や楽しさとともに感じることができ、その全てが勉強にもなり、今改めて素晴らしい時間を過ごせたことに感謝しています。教えていただいたこと、見て学んだことを、これからも忘れず、もっと良い学校にしていけるよう、在校生全員で力を合わせて頑張ります。

最後に、それぞれの進路に向かう三年生のみなさん。先輩方のこれまでの中学校生活では、大変だったこともあったと思いますが、それを乗り越えられたことで、今の先輩方がいらっしゃるのだと思います。この先、みなさん一人一人の個性や得意なことが発揮できる、楽しく充実した生活が送れるよう、私たちはずっと応援しています。それぞれの進路、それぞれの未来へ向かって頑張ってください。この山田中学校で学んだことを生かし、これからの生活を自分らしく楽しんでください。今まで本当にありがとうございました。

在校生代表 小山 茉白

第36回卒業証書授与式



厳しかった寒さもやわらぎ、少しずつ暖かな春の日差しが、私たちを優しく包むようになってきました。今日、私たち三十六期生一〇九名は、たくさんの思い出が詰まったこの山田中学校を卒業します。今、振り返ってみると、この三年間は長いようであつという間だった気がします。

少し大きめの制服に身を包み、校舎がとても大きく見えた入学式。これから先どんなことがあるのだろうか、友達いっぱいできるかなと期待と不安でいっぱいでした。新しいクラスでは知らない人がたくさんいて、何を話したらいいかわからず緊張したけれど、みんなが優しく話しかけてくれて、いつのまにか自然に溶け込むことができていました。

【中略】

三年生、中学校生活最後の年、最高学年として山田中学校を盛り上げていこうと気合いが入りました。

ずっと楽しみにしていた修学旅行、みんなと何日も一緒に過ごすのは初めてで行く前からワクワクしていました。ファームステイでは、農家の仕事を体験させていただきました。農家の仕事は思っていた以上に大変で、毎日朝早くから汗水流して働いてくださる方々がいるから、私たちはおいしい物を食べることができるのだと実感し、当たり前だと思っていたことに感謝する気持ちが生まれました。

【中略】

学校生活では見ることもない、みんなの新しい一面を知ったり、今まであまり話したことのない人とたくさん話をしたりと、学年の仲が一気に深まった修学旅行でした。

体育祭、各クラスとも団長を中心に、クラス一丸となって頑張りました。競技を決める段階では乗り気でなかった人たちも、休み時間に自主的に練習をする仲間を見ているうちに、だんだんやる気になっていきました。本番では、すべての種目において全力で頑張るみんなの姿がありました。特に全員リレーでは、走るのが苦手な人も得意な人も、みんな一生懸命走ってバトンをつなぎ、強いきずなを感じました。競技だけではなく、全員が互いに応援し合う姿にこの学年の強い団結力を感じました。みんなの笑顔が輝いた最高の体育祭でした。

文化祭、どのクラスも初めての劇に取り組みました。最初は、うまく練習がすすまず、なかなかまとまりませんでした。クラスのメンバーの声かけや、頑張って作業している人たちの姿を見て、みんなが真剣に取り組むようになりました。本番はすごく緊張したけれど、みんなに励まされ成功したときはみんなとの距離が一気に縮まった気がします。成功直後の緊張から解き放たれたみんなの喜びの笑顔は今も心に焼きついています。劇が成功したのは、役者、裏方のどちらもみんながそれぞれの役割を果たし、お互いを認め合って協力したからだと思います。

【中略】

そして、頑張ってきたクラブ活動も引退する日がやってきました。三年間クラブ活動を続けることは思っていたより大変なことでした。何度練習してもうまくいかなかったり、人間関係に悩んだり壁にぶつかることがたくさんありました。でも毎日毎日真剣に取り組む、できなかったことができるようになったことで、自分に自信をもてるようになり、あきらめない心や粘り強さを身につけることができた気がします。

【中略】

こうして三年間を振り返ってみると、いつもそばには友達がいました。勉強のわからないところは優しく教えてくれました。悩んだり助けてほしいときは、いつも手を差し伸べてくれました。友達がいてくれたから、どんなことにも笑顔でがんばることができました。自分の本当の姿を出すことができました。友達の笑顔で元気やる気が出てくる気がします。そんな大好きな友達と毎日、はしゃいだり、たわいのない会話をしたり、たまには注意された日々が一番心に残っています。中学校生活を毎日楽しく過ごすことができたのは大好きな友達がいたからです。今まで本当にありがとう。これからもずっと友達でいてください。

最後になりましたが、毎日私たちのために働いたり、ご飯を作ってくれたり、勉強しやすい環境を作ってくれたりといつも支えてくれた大切な家族へ伝えたいことがあります。落ち込んだときは話を聞いてくれました。私の気持ちの変化に気づき、そっと寄り添ってくれました。やりたいことを好きなだけさせてくれました。何よりいつもどんなときでもたくさん応援してくれました。普段は反発してしまうことも多く、たくさん迷惑や心配をかけたけど、本当は心から尊敬しています。心から感謝しています。いつも私の味方でいてくれてありがとう。支えてくれてありがとう。大切にしてくれてありがとう。これからは、私も家族の一員としてみんなを支えられることができるようになっていきたいです。これからもたくさんお世話になるとと思いますが、ずっとずっとよろしくをお願いします。

いよいよ旅立ちのときがやってきました。三年間この山田中学校で本当に思い出深い毎日を過ごしてきました。今この場に立っていても、このままずっと毎日みんなと笑い合う日々が続くような気がします。この制服を着て、この校舎に通うことがもうないかとおもうと本当にさびしい気持ちでいっぱいです。しかし、私たちは新しい道を進まなくてはなりません。これからそれぞれが進む道は、自分自身が進路と向き合って悩んで選択した道です。将来の夢に向かってまっすぐ進む人もいます。夢ははっきりしていなくても、人のために何か役に立ちたいと考えて前へ進む人もいます。それぞれが新たな自分の道を一步一步、自分のペースで歩いていきたいと思います。時には壁にぶち当たることもあるとは思いますが、この山田中学校で出会った仲間が応援してくれていることを思い出し、これまで努力してきた自分に自信を持って、力強く進んでいきます。

三年間、私たちを暖かく見守ってくださった皆さん、本当にありがとうございました。心から感謝して卒業のことばといたします。

卒業生代表 大友 麻里愛 山畑 直也